

た。二日午前には風も数m/sとおさまったが「大いなる積乱雲」を生じた。その間気象台の最高温度は四六・四℃で、本台は焼失し、本館軒先より四十メートル隔たった所にあった百葉箱内で測ったものである。更に気温については地震のあった前後の夜間には二十六℃程度であったが、本台焼失の前には次第に増加し火災のため約六℃の昇温をし、一日の午後十二時には三二・七℃と高温で、二日の午前六時頃まで、この程度の気温が続いた。それに従って湿度は八〇%台から四〇%台まで下がり、家屋や器物は大変乾燥して、火災の発生し易い状態となった。

気圧は一日午後四時には七四七・四ミリ（九九六HP）に下がり、それより上昇し始め、翌日正午には七五三・八ミリ（一〇〇四HP）に達し尚上昇を続けた。

ここに指摘されているごとく、岡田台長は大火災の発生の主な原因として①水道の破損と、②台風による強風、の二つを挙げている。尚、荒川秀俊他の著書：日本史小百科『災害』（近藤出版）、によると、その他の原因として③揮発物や薬物等危険物が引火爆発したり、④水面に浮遊する重油に引火し、浮かんでいる人や船を焼いた。⑤家財の路上堆積物に飛び火したり、消火の妨げになった、などが挙げられている。

また、昭和二十一年十二月二十一日の南海地震の際には、須崎市の駅前で火災が発生し九軒の家屋が焼けたが、津波の襲来により鎮火したという悪をもって悪を制した珍例もある。

（高知県環境問題総合研究会 会報32号より転載）

事務局より

◆友の会文庫への投稿について

（寺田寅彦友の会HP <http://toratomo.yu-nagi.com/> 参照）

本年度、会員や寄稿者から友の会に投稿された作品を随時収録しています。

- 1 2011年度総会記念講演「災害から身を守る」PP画像／武市 智
- 1-1 同上講演内容（録音から）
- 2 「津波から身を守ろう」／上田 壽
- 3 「関東大震災と火災」／上田 壽
- 4 『『亀井戸まで』の記憶』／佐藤 邦夫
- 5 「とらひこ曼荼羅」／佐藤 邦夫
- 6 「機械の内丸最一郎」／佐藤 邦夫
- 7 「湯本清比古のその後を追う」／佐藤 邦夫

- 8 「非読書のすすめ」／佐藤 邦夫
- 9 「消えた『ローマ字の巻』」／佐藤 邦夫
- 10 9の付録 「六月の晴れ」／（佐藤 邦夫）
- 11 “ “ 「秤の針」／（佐藤 邦夫）
- 12 “ “ 「三匹の猫」／（佐藤 邦夫）
- 13 「『新・寺田寅彦断章』の出版に想う」／田中 順一郎
- 14 「寅彦さんの確率 3話の1」／Junior MS
- 15 「寅彦さんの確率 3話の2」／Junior MS
- 16 「寅彦さんの確率 3話の3」／Junior MS
- 16-1 「寅彦さんの確率 3話の3 追記（シミュレーション）」／Junior MS
- 17 「『寅彦さんの確率 3話』の紹介」／Junior MS
- 18 「電気工学者・鳥山四男の転職」／佐藤 邦夫
- 19 「寅彦記念館勤務24年」／伊東喜代子

◆掲示板について

友の会からのお知らせ、および友の会の目的に沿った会員同士の連絡、広報を取り扱っています。友の会の目的と関係のない書き込みはご遠慮ください。

なお、担当者は専任ではないため、表示や回答には時間がかかる場合もあります。

◆「友の会文庫」投稿文の著者による紹介

「寅彦さんのプロバビリティ三話」双六の賽、酔っぱらいの行方、箸拳は、いずれも旧全集10巻（ローマ字の巻）現全集9巻（ローマ字の巻：邦字表記）Ⅱ思ったことよりです。

（14）その1 双六の賽

寅彦の実験では1回目295回サイコロを振った。2回目は265回振った（旧全集）となっています。著者はなぜ300回でないのかなと、すぐ感じました。この265回が現全集では295回と変わっています。統計的検定で265回でも全くおかしくないことを指摘したレポートです。

（15）その2 酔っぱらいの行方

100年前の英欧とわが国の科学レベル差は余りにも大きかった。その中でアインシュタインの論文を読んだ寅彦さんが考察した「ブラウン運動」についての記述です。追記も含

めて読んでください。

(16) その3 箸拳

土佐の酒場でのゲームです。確率は「パスカル、フェルマー往復書簡」1654がはじまりとされています。寅彦の「箸拳」考察の記録は、郷里土佐のゲームを扱った物理学者による確率取り組みの先駆ではないでしょうか。

当時の確率が数学者の間では軍事面から扱われ始めていたのに対し、上記三話を含め寺田寅彦が身近なゲームの側面から確率を考察したことは、十分留意する必要があると思います。

◆寺田寅彦先生の墓参と清掃

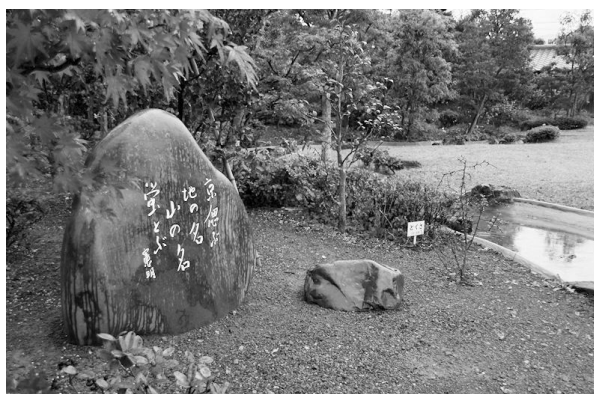
12月17日（土）14時から現地（高知市東久万）にて実施します。墓参だけでも結構ですから是非多数の皆様のご参加をお待ちしています。行き方の詳細は友の会のホームページに写真入りで紹介されています。

http://toratomo.yu-nagi.com/terada_ke/kuma/teradatorahiko.html



◆本会会員の橋田憲明先生が今年度の高知県文化賞を受賞されました。

県立文学館初代館長や日本伝統俳句協会理事を歴任し、現在、俳句結社「勾玉」を主宰されています。また、最近南国市比江の古今の庭に先生の句碑が完成しています。



◆長く本会の会員であった関勉先生が東亜天文学会の会長に就任されました。

彗星ハンターとして世界的に知られ、国内外から多数の賞を受けられています。1996年に発見した小惑星には「寅彦」と命名し、「ホウキ星が呼んでいる」の出版により第15回寺田寅彦記念賞を受けられています。友の会としても先生のより一層のご活躍を期待しています。